

2023.01.21 延命治療 玉手箱研究会

1. 今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。
 - 「最後までファイティングポーズをとられていた」と家族が感じられていたケースの話聞いたこと
 - 意志決定支援・ACP は大切である
 - 患者さんの家族、在宅医、病院勤務医のそれぞれの立場からの発言がきけてよかったです。ALP という言葉をはじめて知りました。ACPを全うするためにも金銭の問題を考慮しておく必要があるのは納得できました。
 - 人によって延命治療の意味が違うということ

////////////////////////////////////

2023.01.22 家庭医療セミナー「藤田総診の極意を、教えます！」午前の部

1. 今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。
 - 藤田総診の発展は、その戦略と大杉泰弘先生の統率力の素晴らしさに尽きると思います。私も前地で、初期研修プログラム責任者を拝命、また総合診療科立ち上げに携わりました。大杉先生のご苦労が大変よくわかり、興味深く講義を拝聴させていただきました。
 - 講師の皆さんの熱い思い
 - POCUS のハンズオンセミナー
 - POCUS エコー
 - ガイドライン、エビデンスの奴隷にならず、患者さんに合わせて無理ない治療を選択する場面があってもいいということ。急性期に劣った治療をするわけではないということ。
 - 大杉先生のセッション
 - 大杉先生の話。
 - 時間の関係で午前中のみ参加となりましたが、それぞれの内容が大変勉強になり、どれが一番といい難いほどのものでした。
 - 大杉先生の総合診療立ち上げの努力
 - 紹介状からプロブレムをまとめる手法
 - 大杉先生のプレゼンでの篤き思い
 - エコー
 - 豊田医療センター改革の話
 - 紹介状のセッションで、カテゴリーごとに分類し、患者状態を把握するというのがとても勉強になりました。
 - 藤田のリクルート戦略が非常にためになった。当科人数不足解決の糸口が見えた気がした。

2023.01.22 家庭医療セミナー「藤田総診の極意を、教えます！」午後の部

1. 今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。
 - 在宅医療の心掛けのセッション全般 特に看取りは病棟でも同じことが言えると実感しました。今後の参考にしたいと思いました。ありがとうございました。

- 日本の総合診療を本気で考えてくださっている方々がいるということ
- 学生時代、家庭医療はセンスとアートの世界で、米国式専門トレーニングが必要と言われ、ハードルが高すぎて諦めましたが、これなら挑戦できるかと思えたこと。具体的に追体験できたのが良かったです。ありがとうございました。
- リクルートについて、コロナで行き来が出来ない中でそれを逆にうまく活用していた点。
- 良い研修を受けた医師だから本心からリクルートできるのですね。
- 「親指を描くなら親指の周りの空間を描きなさい」は懐かしく、改めて大切な言葉だと思いました。
- 訪問診療にも型があること、診療情報提供書をさらに深く読むこと、肋骨骨折をエコーで診断すること
- 藤田総診の熱意
- 訪問診療について
- 看取りの場に臨むとき
- 在宅看取りについて
- 近藤先生の話が 在宅医師へ転科したばかりの小生にはよかった 教育が重要なのは涙が出るほど理解できた 看取りの型がある話とか お宝でした
- いかに死ぬかでなく、いかに生きるか、から、その人に最善の治療を考える必要があること。
- 電話相談≒往診
- 在宅医療 自分が一番舐めていました。
- マインドとスキルの両輪が絶妙に機能していること
- 胃漏のケースですが 嫌がる本人に無理矢理入れると自己抜去するという見方がなかったように思います